

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 リハルキッズMURASAKIDAI

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		・引き続き子ども達の人数や状況に応じてグループ分けをするなど、活動を考慮して取り組んでおります。	
	2	職員の配置数は適切である	6		・規定に沿った人数で、且つ、子ども達の人数やご様子に合わせて職員配置や対応を行っております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6		・危ない場所には黄色いテープやクッション材にて保護をしております。また、掲示物での注意喚起を行っております。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		引き続き、毎月の目標を各自で設定し、反等を行う振り返りシートを利用しながら、各職員が向上出来るよう取り組んでおります。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			・皆さまから頂きました貴重なご意見を参考に、今後の療育もより良いものとしていけるよう、努めて参りたいと思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・毎月、題材を決め、職員研修を行っております。職員教育に繋げていけるよう努めて参りたいと思います。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		・ご家族様よりアセスメントを記載して頂きながら、計画書の作成を行っております。改めてニーズ等ありましたら、随時、見直し、対応出来るよう努めていきたいと思ます。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	太田ステージを導入したばかりです。これから活用を広げていきたいと思ます。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	・毎日、職員間で活動内容の意見交換等行いながらアイデアを出し合い取り組んでおります。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・常に意見交換を行い、様々な要素を含んだ活動内容にてお子様の経験の幅を広げていけるよう努めて参ります。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	・土曜日や長期休暇等は、更により深い支援が行える様、スケジュールや個別練習等の設定をしております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	・引き続き活動内容やお子さまの段階等も考慮しながら、個別、小集団、集団での支援を行っております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・毎日、朝礼、終礼という形でミーティングを行っております。支援内容や職員の対応、役割分担について意見交換、確認を行っております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・終礼という形でその日の状況や課題、支援方法等について、職員間で意見交換を行い、業務日誌などに記録として残しております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・毎日、業務日誌やケース記録等にて記録し、職員間でも確認、情報共有を行っております。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6		・半年毎に、モニタリングや見直しを行い、お子さまに合わせた支援が出来るよう、取り組んでおります。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	5	1	・引き続き様々な活動を組み合わせ、より良い支援が行える様、取り組んでおります。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		・積極的に担当者会議に参加しております。会議内容等、全職員が共有出来るよう、報告、書面にて残しております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		・引き続きお子さまを安心して預けて頂けるよう、ご家族に確認させて頂きながら、状況に応じた連絡調整も含め対応させて頂いております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	5		・現在のご利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		・児童発達支援より継続でご利用のお子さまにしましては、引継ぎや情報共有等を行っております。	・放課後等デイサービスからご利用のお子さまにしまして、必要に応じて、情報共有や連携を図っていきたく思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	2		・学校を卒業されるお子さまのケースはまだありませんが、情報の提供等は積極的に行っていきたいと思っております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	5	・必要に応じて、情報交換等を行っております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6		・現在は積極的な交流は行っておりません。ご家族様のご意見も伺いながら、今後は検討していきたいと思っております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5		現在は積極的な交流は行っておりません。ご要望などがありましたら、今後は検討していきたいと思っております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		・連絡帳や送迎時にお話を伺いながら、随時、お子さまの状況や課題等の共通理解を深めております。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2	・ご家族様のご希望に合わせて、個別に支援を行っております。	ご家族のご相談に全ての職員が迅速に対応できるよう、今後も努めてまいります。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		・契約時及び、室内掲示にて行っております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・引き続き必要に応じて、面談等行いながら、対応させて頂いております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	・保護者会等は現在行っておりません。ご要望などがございましたら今後検討してまいります。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・引き続き担当者を設置しております。苦情内容等においても、迅速に検討し、対応出来るよう取り組んでおります。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		活動の様子を雅円会のホームページでのブログ更新を利用したり、日々の活動内容やお子様のご様子は連絡帳にてお知らせしております。	・今後も、より情報が伝わりやすい開示方法等も踏まえて、検討していきたいと思っております。
	35	個人情報に十分注意している	6		・細心の注意を払っております。他事業所とのやり取り等に関しまして、ご家族様の了承を得て行っております。	今後も細心の注意を払って取り扱わせていただきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・お子さまに合わせた、ツールの使用や、やり取り等を行っております。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		・近隣の活動は現在控えております。ご要望ありましたら今後、地域の方との関りが持てる場を作っていきたいと思っております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1		・ご家族様にも広く理解して頂けるよう、ご希望に合わせてマニュアルの開示や避難訓練の様子を発信していきたいと思ひます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		・活動の中でお子様に訓練の大切さを伝えながら一緒に取り組み、また職員のみでも訓練、確認等を行っております。	引き続き非常災害が発生した場合迅速に対応できるよう努めてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		・虐待マニュアルも作成しながら、職員の意識や理解を深められるよう取り組んでおります。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1	・やむを得ない場合のみ、必要に応じて、ご家族様にご確認、ご了承を得ながら、対応していきたいと思ひます。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		・対象のお子さまに關しましては、医師からの情報提供書等を確認しており、アレルギーがある場合は含まれる食材は提供していません。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	・ヒヤリハット等に關しましては、書面にて、職員が把握出来る体制を作っております。	・様々なヒヤリハット、事例を把握する為にも、書面にて残すケースも増やしながら、より安全、安心な支援が行える様、努めて参りたいと思ひます。